目次　Indice

はじめに

序章　イタリア語日記をはじめよう！

書く材料は？
どうしたら継続できるのでしょう？
形式はある？
本書の構成

第１章　おさらい文法編

❶ 文の組み立てかた　16
❷ 過去時制　19
　近過去
　半過去
　大過去
　遠過去
❸ 現在時制　28
❹ 未来時制　30
❺ 再帰動詞　32
❻ 非人称動詞　36
❼ 受動態　40
❽ ジェルンディオ　42
❾ 条件法　45
❿ 接続法　48
⓫ 使役動詞　53
⓬ 関係代名詞　56
⓭ 関係副詞　60
⓮ lo について　61
⓯ ne について　63
⓰ 名詞・冠詞　67
⓱ 句読記号　76

第２章　日記に使える構文・表現パターン

❶ ～な１日だった　84　いい１日だった
❷ ～がいる / ある　86　たくさんの人がいた / ピアノのレッスンがあった
❸ ～へ行く　88　学校へ行った
❹ ～に会う　91　２週間ぶりに彼に会った
❺ ～したことがある　92　ヴェネツィアに３回入ったことがある
❻ ～したい　93　私はイタリア語で日記を書きたい
❼ ～しようと思っている　94　転職しようと思っている
❽ ～することを決める　95　私は明朝６時に出かけようと決めた
❾ ～が好き　97　私は犬が好きです
❿ ～が気に入った　99　その小説をとても気に入った
⓫ ～することができる　100　私はイタリア語で日記を書くことができる
⓬ ～しなくてはならない　102　明日までにどうしてもレポートを準備しなくてはならない
⓭ ～に違いない　～のはずだ　104　それはアキコに違いない / 彼女はここへ来たはずだ
⓮ ～を始める　105　私はイタリア語で日記を書き始めた
⓯ ～を終える　106　８時に夕食を終えた
⓰ ～するまで　107　返事をもらうまで家に帰らないつもりだった
⓱ ～のために　目的　108　痩せるためにダイエットを始めた
⓲ ～なので　原因・理由　110　お腹が痛くて授業に行けなかった
　大雪のために試合は中止になった
⓳ とても ～ なので…だ　112　昨晩、私はとても酔ってしまって記憶がない
⓴ ～のようだ　～にみえる　113　その映画はおもしろそうだ / 明日は雪が降りそうだ
㉑ 時間･労力がかかる　115　彼女はあの作品を仕上げるのにどのくらい時間がかかったんだろう？
㉒ 強調構文　116　長いこと私たちは会っていない
㉓ ～するばかりである　118　私は仕事のことばかり考えている
㉔ …だけでなく～も　119　私はビールだけでなくワインも飲んだ
㉕ 結局～してしまう　119　レポートを書いていたら、結局徹夜してしまった
㉖ ～はむずかしい　非人称構文　120　ひとつのことを続けるのはむずかしい
㉗ ～するべき　121　あの本は読むべきだ

㉘ ～よりも…だ　比較　122
私は姉よりも背が高い / 今日は昨日よりも暑い
㉙ 思ったより～だ　124
札幌は思ったより暖かかった / 札幌は思ったほど寒くなかった
㉚ 思ったとおり～だ　126
サトウさんは思ったとおり感じのいい人だった
㉛ いちばん～だ　127
私が訪れたなかで一番きれいな街だ
彼女はもっとも仲のいい友だちのひとりだ
㉜ ～なしですます　129
私は音楽なしではやっていけない
㉝ ～なしで　129
マサコは私に挨拶なしで立ち去った
㉞ ～ならいいのに！　願望の接続法　131
この選手がオリンピックで金メダルを取れればいいのに！
㉟ もし～なら、～ だ　仮定文の基本パターン　132
本を読めば、何か新しい発見が必ずある
もしお金があれば、山に別荘を建てたい
きちんと勉強していれば、試験に合格しただろうに
もしも父と母が出会ってなければ、私は今ここにいないだろうに
㊱ 時を表すことば　日 / 時間 / 週 / 月 / 年　134
季節 / 世紀 / 時を表すことばいろいろ
㊲ よく使うつなぎことば　140
㊳ 頻度を表すことば　141

第 3 章　感情表現をマスターしよう

感情表現　144
1 嬉しい・幸せだ　144
2 楽しい・おもしろい　145
3 満足だ　146
4 期待している　147
5 感動する　149
6 尊敬する　150
7 好き　150
8 感謝する　154
9 安心する　155
10 いい気分だ・心地よい　155
11 悲しい　156
12 寂しい　157
13　むなしい　158
14 怒る　158
15 侮辱だ・傷ついた　160
16 憂鬱だ・落ち込んでいる　160
17 驚く　161
18 苦しい･悩んでいる･つらい　163
19 失望している・残念だ　164
20 後悔している　165
21 心配だ　166
22 疲れている･退屈している　167
23 困惑する　168
24 忍耐・がまんする　169
25 嫌い　170
26 あきらめる　171
27 興奮する　172
28 混乱する　173
29 怖い・恐ろしい　173
30 緊張する　174
31 嫉妬する・ねたむ　175
32 恥ずかしい　176
間投詞　178
人の性格・外見を表現する形容詞・名詞いろいろ　179

第 4 章　いろいろな題材で書いてみよう

さぁ、具体的に日記文に挑戦していきましょう　190
1. 1 日の生活　194
目覚める・起きる / 朝食をとる / 身じたくをする
通勤・通学 / 家事 / 昼食をとる
夕食をとる・料理をする / 睡眠
diario 1　私の毎日と人生
2. お天気 春夏秋冬　214
晴れ / 曇り・霧 / 雨 / 風
暑さ・寒さ・温度・湿度 / 荒れ模様 / お天気あれこれ
春について / 夏について / 秋について / 冬について
diario 2　冬が好き
3. 年中行事 人生の節目　241
お正月 / クリスマス / 誕生日・記念日 / 卒業・入学・入社
夏休み / 運動会・遠足 / お祭り / イベントいろいろ
転職・退職 / 結婚・出産 / 離婚 / 引越し
diario 3　おみこし
4. 家族　263
家族 / 親 / 兄弟姉妹 / 祖父母
夫婦 / 子供 / 親戚
diario 4　父の思い出
5. 学校 職場　278
学校で / 勉強・調べもの / 仕事・職場

仕事に関する勉強・準備 / 同僚 / 上司
diario 5　宝くじがあたったら？
6. 趣味　295
映画 / 演劇・オペラ・舞踊 / 音楽 / 読書 / 旅行
ファッション・美容 / スポーツ・アウトドア / 鑑賞あれこれ
園芸 / ペット / ボランティア活動 / 趣味あれこれ
diario 6　能面の展示会
7. ショッピング 食事　313
～を買う(ショッピング) / ～を買う(日常の買い物)
～を食べる・飲む / 飲み会・お酒
diario 7　セールの季節
8. 友だち　恋愛　324
友だちのこと / 恋愛のこと
diario 8　私の中の新しいパワー
9. ニュースのこと　334
事件・事故について / 政治・経済ニュース / 国際ニュース
スポーツ・ニュース / エンタメ・ニュース / 文化関連ニュース
科学技術関連ニュース / メディアあれこれ / 感想コンパクト表現
diario 9　情報の渦のなかで
10. 健康　356
体調 / 風邪 / 健康あれこれ / ダイエット
diario 10　退院したアキコ

序章　イタリア語日記をはじめよう！

書く材料は？

「日記を書く」というとかまえてしまい、きちんと書かなくてはと思いがちですが、そんなことはありません。1 日は 24 時間あって、人はそのなかで何かをして、何かを感じながら生きていますから、その「何か」を材料にすればいいのです。ささいなことから大事件まで、なんでも材料になりえます。日記ですから他人の目も気になりません。名文を書こうとか、おもしろく書こうとか気負わずに、自分の日常のかけらを淡々とイタリア語で表してみる感覚で良いと思います。

どうしたら継続できるのでしょう？

どんなに忙しくても、毎日最低 1 行でも書いていくことが、アクティブなイタリア語力に必ずつながります。継続するコツは次のようなものです。

1 行でも 2 行でも短くてかまわない

→　自分の作った文でありさえすれば、短くてかまいません。

これを書こうと思いついたら、メモしておくこと

→　タイミングを大切に。日記は必ずしも 1 日の終わりに書くものと決まっているわけではないので、書きたい材料を見つけた時点で、イタリア語文の案を練ることをお勧めします。思いついた時にすぐに書ければベストですが、どんなに忙しくてもメモする数秒の時間は見つけられるはず。

書きたくない日や書けない日は、その理由などを書いてみること

→　言い訳も立派な日記になります。

Oggi non ho niente da scrivere.（今日は書くことが何もない）

Oggi non vorrei scrivere.（今日は書きたくない）

Sono troppo stanca e non posso scrivere.（あまりに疲れていて書けない）

などと書いておきましょう。

まちがいを恐れない　　継続さえしていればまちがいを直す機会は必ずある

→　書いた文の文法などが怪しいなと思っても、途中でやめずにその日の日記としてとにかく残しましょう。続けていくことで、いつもどこがわからないのか、何が苦手なのかがわかってきます。時間のあるときに、苦手なところを集中的に勉強できます。

気負わないこと

→　なにごともハードルを高く設定することは重要ですが、日記は毎日のことなので、安定した継続のためには、上手に書こうとか、感動的に書こうなどと肩に力をいれすぎないことが必要です。

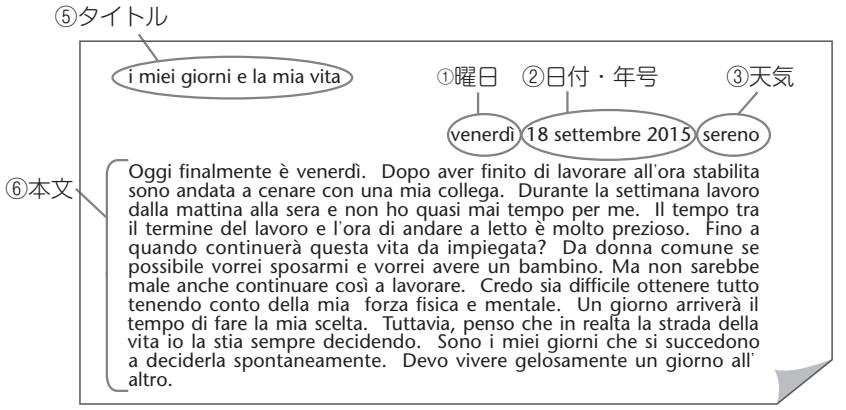
最初は、起床時間や就寝時間、お天気、体調、ランチに食べたものなど、身近なことから書き始め、〜に行った、〜に会った、〜を見たなどのできごとや、楽しい・嬉しい・悲しいなどの感情表現を入れて、だんだんふくらませていければいいですね。題材をしぼったテーマ日記もお勧めです。いろんな書き方をためして自分のスタイルを作っていきましょう。

続けた日記をあるときに読み返すと、思いがけない自己発見もあるかもしれません。日記の熟成効果とでも呼びましょうか、しばらく寝かしたあとで再び読むと味わいが変わっていて、今の自分の変化に気づいたり、自分らしさを見出すこともあるのです。

日々の日課は人を裏切りません。日記を継続することは、必ずやみなさんのイタリア語力アップにつながります。

形式はある？

日記には特別な形式はありません。日付さえ書けば、あとは書き手の自由です。基本的なフォームを紹介しますので参考にしてみてください。



この日記は 213 ページに載っている日記です。

①　曜日

曜日を書く場合は最初に書きます。定冠詞はつけず、小文字ではじめます。簡略化して書くこともあります。

月曜	lunedì	lun.	**火曜**	martedì	mar.
水曜	mercoledì	merc.	**木曜**	giovedì	gio./giov.
金曜	venerdì	ven.	**土曜**	sabato	sab.
日曜	domenica	dom.			

②　日付・年号

日付は曜日の次に書きます。日→月の順番です。年号を書く場合は月のあとに書きます。例えば日本語の「2015 年 9 月 18 日金曜日」はイタリア語では曜日からさかのぼるように、venerdì 18 settembre 2015 となるわけです。

曜日を入れない場合、正式な日付の表示には il 18 settembre 2015 のように定冠詞をつけますが、自分だけの日記では省略することが多いです。月を簡略化して 18 sett. と書くこともできます。

1月 gennaio genn. / 2月 febbraio febb. / 3月 marzo mar.
4月 aprile apr. / 5月 maggio magg. / 6月 giugno giu.
7月 luglio lug. / 8月 agosto ago. / 9月 settembre sett.
10月 ottobre ott. / 11月 novembre nov.
12月 dicembre dic.

③　天気

お天気を記すのであれば、日付の後に入れます。お天気の表現に関しては、214ページをご参照ください。

④　場所

旅先などで場所名を記す場合は、

Osaka, venerdì 18 settembre

Izu, 18 settembre

などのように最初に書き、カンマで区切って曜日や日付に続けます。

⑤　タイトル

特に必要はありませんが、文章がある程度の長さになる場合は、あらかじめタイトルを考えて書くと、文章が散漫にならず、テーマを意識して書くことができます。また、時間が経ってから読み直すときにタイトルを見るだけで、その日のことが思い出しやすく、整理しやすいという利点があります。

⑥　本文

本文は人によってさまざまでよいと思います。本書では短文を中心に紹介していますので、参考にしてみてください。日常の小さなことから大きなできごとまで、なんでも書いてみましょう。大切なのは自分のことばをイタリア語を使って書いてみることです。

本書の構成

第1章　おさらい文法編

イタリア語で文を書くにあたり、確認しておきたい文法事項をとりあげました。動詞を中心に扱い、なるべく日記にも使えるような文例を多く挙げました。

第2章　日記に使える構文・表現パターン

ある程度パターン化している基本的な構文・表現をピックアップしてみました。日記に使えるような文例を多く挙げましたので参考にしてみてください。

第3章　感情表現をマスターしよう

感情別に表現の例を出してみました。日記文にとりいれてご活用ください。

第4章　いろいろな題材で書いてみよう

テーマ別にいろいろな立場からの日記短文例を挙げてみました。身近な材料を多く扱っています。各テーマの終わりにはひとつのまとまった日記例を出しました。

intervallo　休憩コーナー

イタリア語を勉強していて見つけた、おもしろいことばや成句表現を中心に紹介しています。ひと休みのコーナーです。

略号・記号

m.	maschile	男性名詞	f.	femminile	女性名詞
pl.	plurale	複数形	agg.	aggettivo	形容詞
avv.	avverbio	副詞	inv.	invariabile	無変化品詞
qlcu.	qualcuno	だれか	ql.co.	qualcosa	なにか

書き手（私）の性

イタリア語文例中の語尾変化や文の内容に留意し、想定した書き手の性を次のマークで表しました。第 1 章〜 3 章では必要に応じて、第 4 章ではすべての文例にマークをつけてあります。

書き手が男性

書き手が女性

書き手は男女問いません